

令和6年度

# 西中ガイド



伊勢崎市立境西中学校

# 伊勢崎市立境西中学校校歌

作詞 長谷川淑江

作曲 六本木芳美

一 ひろせ なが みずきよ  
広瀬の流れ 水清く  
あ お お お あ か ぎね  
仰げば雄々し 赤城嶺に  
わ ま な  
我が学びやは つつまれて  
きょうど とも さか  
郷土と共に 栄えゆく  
な たか  
その名は高き  
にしちゅうがっこう  
西中学校

二 ま な みち  
学びの道は きびしくも  
すす われら し とも  
進もう我等 師と共に  
れ き し つく わこうど  
歴史を創る 若人の  
いしずえ わ ほ こう  
礎かたき 我が母校  
な ほ こ  
その名を誇れ  
にしちゅうがっこう  
西中学校

三 き ぼう ひかり うつく  
希望の光 美しく  
り そう たか わ むね  
理想は高し 我が胸に  
ひとみ つね  
瞳は常に かがやきて  
あ す ひやく おお  
明日への飛躍 大いなる  
な く おん  
その名は久遠に  
にしちゅうがっこう  
西中学校



- ・中学3年間でどんなことを学習するの？
- ・何に気をつけて勉強すれば良いのだろうか？
- ・通知表の成績ってどうなっているの？

などの疑問を持つ君！！



「境西中ガイド」を  
参考にしよう

こんなことを説明しています

1. 学習の約束・生活の約束
2. 各教科の
  - ① 目標
  - ② 3年間の学習内容
  - ③ 学習のポイント
  - ④ テスト勉強の方法
3. 入試対策のポイント
4. 各教科の評価 など

これからの1年間、学習等について困ったことや悩んだことがあったら、まずこの「境西中ガイド」をよく読み直してみましょう。どこかに解決するためのヒントが書いてあるはずです。



# 「生活における約束」「学習における約束」

## 生活における約束

- 1 あいさつや返事をしっかりしよう
- 2 言葉づかいをしっかりしよう
- 3 身だしなみをしっかりしよう
- 4 清掃をしっかりしよう
- 5 時間を守ろう

## 学習における約束

- 1 忘れ物（提出物も）をしないようにしよう
- 2 チャイムと同時に授業を始めよう
- 3 人の話や先生の話をしっかり聞こう
- 4 よい姿勢で学習しよう
- 5 宿題、家庭学習にしっかり取り組もう

		生活・学習のルール（境剛志小・境西中共通）			
		境剛志小学校 低学年	境剛志小学校 中学年	境剛志小学校 高学年	境西中学校 校
生活 におけ る約 束	1 あいさつやへんじを しっかりしよう	（友達や先生にあつたら）「おはようございます」など、はっきりした声で言う。	（いつもたれにでも）元気があいさつする。	（いつもたれにでも）自分から進んであいさつやえしやくをする	校内で行き会う人、地域の知人、訪問者などの状況を見て、自分から礼儀正しい（丁寧、心をこめた）挨拶をする。
	2 言葉づかいを しっかりしよう	自分のことははっきり話す。「ありがとうございます」「ごめんね」を言う。	「です」「ます」を使い、ていねいな言葉づかいをする。	目上の人には敬語を使う。	T（時）P（人）O（場面）を考え、それに適した言葉遣いを選んできちんとする。
	3 身だしなみを しっかりしよう	自分の服をきちんと着る。	給食着や体育着を正しく着る。	場所や目的・気候にあった服装をする。	TPOに適した季節感、清潔感のある服装や髪型を考えている。
	4 清掃を しっかりしよう	自分の決められた分組をしっかりとやる。	時間に間に合うように仕事を完了する。	自分が終わったら班のみんなの分もやり、協力して掃除をする。	分組終了後、自分から仕事を見つけて、真剣に掃除をする。
	5 時間を守ろう	先生が示した時間を守る。	時計を見て動く。	次の行動を意図して、時計を見て行動する。	早めに行動し、余裕をもって動く。（登校時間、授業、下校時間など）
学 習 に おけ る約 束	1 忘れ物（提出物も） をしないように しよう	翌日の準備をし、家の人に確認してもらう。	自分で翌日の準備をする。	連絡帳を書いて自分で用意をする。	必要なものの準備や提出物の期限を必ず守るように、計画的に取り組む。
	2 チャイムと同時 に授業を始めよう	授業が始まる前に席に着いている。	教室が始まる時は早めに移動をする。	連絡帳を置いて自分で用意をする。	次の教科の準備や予習をして自分から勉強をしている。
	3 人の話や先生 の話をしっかり 聞こう	相手の目を見て最後まで話を聞く。	内容を考え、うなずきながら聞く。	自分の考えや意見と比べながら聞く。	話の内容や意図を理解しながら聞き、自分の考えを深める。
	4 よい姿勢で 学習しよう				主体的に学習し、質問をする。
	5 宿題、家庭 学習に しっかり 取り組もう	毎日の宿題を忘れずにやる。	宿題の他に自主学習にも挑戦する。	毎日時間を決めて、宿題や自主学習に取り組む。	最低2時間の家庭学習をしよう。予習、復習のやり方を工夫する。 2時間以上の家庭学習をする。

# 国語科

## 1 目標

- 社会生活に必要な言語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

## 2 3年間の学習内容

	1年	2年	3年
4	<b>&lt;言葉に出会うために&gt;</b> 朝のリレー 野原はうたう	見えないだけ	世界はうつくしいと
5	<b>&lt;1学びをひろく&gt;</b> シンジュン 情報を整理して書こう	<b>&lt;1広がる学びへ&gt;</b> アイスプラネット 枕草子 多様な方法で情報を集めよう	<b>&lt;1深まる学びへ&gt;</b> 握手 学んで時に之を習ふー「論語」から 文章の種類を選んで書こう
6	<b>&lt;2新しい視点で&gt;</b> ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって	<b>&lt;2多様な視点から&gt;</b> クマゼミ増加の原因を探る 魅力的な提案をしよう	<b>&lt;2視野を広げて&gt;</b> 作られた「物語」を超えて 説得力のある構成を考えよう
7	話の構成を工夫しよう <b>&lt;3言葉に立ち止まる&gt;</b> 詩の世界	メディアを比べよう <b>&lt;3言葉と向き合う&gt;</b> 短歌に親しむ	実用的な文章を読もう <b>&lt;3言葉とともに&gt;</b> 俳句の可能性
8	比喩で広がる言葉の世界	短歌を味わう	俳句を味わう
9	言葉を集めよう <b>&lt;4心の動き&gt;</b> 大人になれなかった弟たちに・・・ 星の花が降るころに	言葉の力 <b>&lt;4人間のきずな&gt;</b> 盆土産 字のない葉書	言葉を選ぼう <b>&lt;4状況の中で&gt;</b> 挨拶ー原爆の写真によせて 故郷
10	聞き上手になろう 項目を立てて書こう <b>&lt;5筋道を立てて&gt;</b> 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	表現を工夫して書こう <b>&lt;5論理を捉えて&gt;</b> モアイは語るー地球の未来 根拠の大切さを考えて書こう	聞き上手になろう <b>&lt;5自らの考えを&gt;</b> 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性
11	話題や展開を捉えて話し合おう 大阿蘇 <b>&lt;6いにしへの心にふれる&gt;</b> いろは歌 古典の世界 蓬萊の玉の枝ー「竹取物語」から 今に生きる言葉	立場を尊重して話し合おう 月夜の浜辺 <b>&lt;6いにしへの心を訪ねる&gt;</b> 平家物語 扇の的ー「平家物語」から 仁和寺にある法師ー「徒然草」から 漢詩の風景	多角的に分析して書こう 合意形成に向けて話し合おう 初恋 <b>&lt;6いにしへの心を受け継ぐ&gt;</b> 古今和歌集 仮名序 君待つとー万葉・古今・新古今 夏草ー「おくのほそ道」から 古典名句・名言集
1	<b>&lt;7価値を見いだす&gt;</b> 「不便」の価値を見つめ直す	<b>&lt;7価値を語る&gt;</b> 君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ 魅力を効果的に伝えよう	<b>&lt;7価値を生み出す&gt;</b> 誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう
2	助言を自分の文章に生かそう		
3	<b>&lt;8自分を見つける&gt;</b> 少年の日の思い出 随筆二編 構成や描写を工夫して書こう 一年間の学びを振り返ろう さくらの はなびら	<b>&lt;8表現を見つける&gt;</b> 走れメロス 構成や展開を工夫して書こう 国語の学びを振り返ろう 木	<b>&lt;8未来へ向かって&gt;</b> 温かいスープ わたしを束ねないで 三年間の歩みを振り返ろう

### 3 学習のポイント 国語科授業のポイント〈よく考えること〉

#### ○授業の受け方

- ・休み時間のうちに授業の用意を机の上に出しておこう。
- ・休み時間のうちに漢字テストの準備をしておこう。
- ・教材の準備を確実にしよう。(もしも忘れたときは、授業前に申し出ること。)
- ・先生の話や友達の発言をよく聞こう。
- ・板書をノートに丁寧に書こう。また、大切なことはノートにメモしよう。
- ・積極的に挙手し、発言ははっきりと大きな声でしよう。
- ・教科書の音読練習では、自分に聞こえるくらいの声をしっかり出して読もう。
- ・漢字テストや単元プリント、学習プリントはきちんと保管しておこう。
- ・話し合い活動は、お互いに協力し合い学び合おう。
- ・文章に関する感想や授業の感想などは自分の心を見つめて書こう。

#### ○家庭学習の仕方

##### ①予習

- ・漢字テストに合わせて、正しい書き順で丁寧に漢字練習をしよう。
- ・教科書を音読しよう。
- ・難しい言葉の意味調べをしよう。

##### ②復習

- ・何度も音読しよう。(黙読よりも目、耳、口を使うと効果がある。)
- ・ノートを見直し、その日学習した内容のポイントにラインを引こう。  
また、自主学習ノートにポイントをまとめておこう。
- ・漢字テストで覚えきれていなかった読みと書きを、繰り返し学習しておこう。

##### ③自主勉強

- ・国語便覧などを用いて要点をノートにまとめよう。
- ・興味をもった新聞記事などを切り抜いてノートに貼り、感想を書こう。
- ・読書に親しみ、想像・論理の世界を広げよう。(読書記録をするとよい。)
- ・書写や西中ノートの日記などを通して、文字や文を書く楽しさを味わおう。

### 4 テスト勉強の方法

- ・テスト範囲の漢字(特に事前のテストで覚えきれていなかった漢字)を練習しよう。
- ・ノートを見直して、範囲の内容(ポイント)をもう一度まとめよう。
- ・学習プリント・単元プリントを繰り返し学習しよう。
- ・テスト範囲のワークの答え合わせをして、間違えたところや分からなかったところは赤ペンで模範解答を書き込み、その上に付箋紙を貼ってもう一度やってみよう。
- ・国語ワークの資料も読んで、幅広い知識を身に付けよう。
- ・授業の内容を振り返りながら教科書を音読しよう。

# 社会科

## 1 目標

- 日本と世界の諸地域の地理的特色を理解するとともに、その地域の課題をとらえる。
- 日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景にしながら、各時代の特色を理解する。
- 日本国民としての基礎的教養を身につけ、社会生活の諸問題に取り組む態度を身につける。
- 様々な資料を利用し、事実を多面的に理解し、公正に判断し、表現する力を身につける。

## 2 3年間の学習内容

	1 年	2 年	3 年
4	世界の姿 日本の姿	身近な地域の調査 日本の地域的特色	第一次世界大戦と民族独立の動き 高まるデモクラシー 戦争に向かう世論
5	人々の生活と環境		第二次世界大戦の惨禍 敗戦から立ち直る日本
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史の流れと時代区分</li> <li>・歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた</li> </ul> 古代の国家の成立と東アジア	武家政権の発展と世界のうごき <ul style="list-style-type: none"> <li>・武士による全国支配の完成</li> </ul> 天下泰平の世の中	世界の多極化と日本の成長 これからの日本と世界 現代社会と文化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の特色</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの中の倭（日本）</li> <li>・中国にならった国家づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と幕府の対策</li> </ul>	現代社会をとらえる枠組み 日本国憲法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主主義と日本国憲法</li> </ul>
8		日本の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人権の尊重</li> <li>・法の支配を支えるしくみ</li> </ul>
9	世界の諸地域 ・アジア州	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方</li> </ul>	民主政治 <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治と私たち</li> <li>・国の政治のしくみ</li> <li>・地方自治とわたしたち</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ州</li> <li>・アフリカ州</li> <li>・北アメリカ州</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国・四国地方</li> <li>・近畿地方</li> <li>・中部地方</li> </ul>	市場経済 <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活と経済</li> <li>・消費と経済</li> </ul>
11	古代の国家の成立と東アジア <ul style="list-style-type: none"> <li>・展開する天皇・貴族の政治</li> </ul> 武家政権の成長と東アジア <ul style="list-style-type: none"> <li>・武士の世の始まり</li> <li>・武家政権の内と外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関東地方</li> </ul> 近代（前半）近代国家の歩みと国際社会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国における「近代化」</li> <li>・開国と幕府の終わり</li> </ul>	これからの日本経済 <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政</li> </ul>
12	世界の諸地域 ・南アメリカ州	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府による近代化</li> </ul>	国際社会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争のない世界</li> <li>・貧困解消と環境保全</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オセアニア州</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近代国家への歩み</li> </ul>	課題の探究
2	武家政権の成長と東アジア <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の結びつきが強まる社会</li> </ul> 武家政権の発展と世界のうごき <ul style="list-style-type: none"> <li>・大航海によって結びつく世界</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝国主義と日本</li> <li>・アジアの強国の光と影</li> </ul> 日本の諸地域 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北地方</li> </ul>	予備時間 地理、歴史、公民の復習を行い、基本的事項をしっかりと身につけよう。
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦乱から全国統一へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道地方</li> </ul> 地域の在り方	

### 3 学習のポイント ←学習の手引き参照

#### ○授業の受け方

- ・学習に使うものを忘れないようにしましょう。  
社会科は地図帳や資料集あるいは基本用語集など、いろいろな教材教具を使います。忘れてしまうときちんと理解ができないことにもなりかねません。きちんと準備しましょう。
- ・授業の1時間1時間を大切にし、キーワードをメモしながら学習しましょう。  
年号や歴史用語のキーワードを中心にメモしながらできるだけ、その時間に覚えていこう。そうすると、復習が楽になります。ちなみに社会は予習も大事ですが、復習も大事です。
- ・授業に参加しよう。  
メモするだけでは、きちんと身に付きません。自分のものにするには質問したり、みんなと話し合うことも必要です。授業に積極的に参加しましょう。

#### ○家庭学習の仕方

- ・大切なのは予習・復習です。  
授業前に教科書を読んでおいたり、社会科用語を調べてノートにまとめておくと授業の分かりがよくなります。また、復習では、授業でやったことをノートで思い出して下さい。ポイントはキーワードです。終わったらワークで問題を解いてみましょう。苦手なことも何回もやれば覚えられます。楽しんで復習をしましょう。
- ・テレビや新聞などで授業で習ったことを広げ、つなげてみましょう。  
社会科は身の回りの出来事と強く結びついています。授業で学んだことが必ず生きます。すこし、気をつけて身の回りをみてください。たとえば、テレビです。毎日社会科に関係したことが放送されています。そうやって授業とテレビがつながると社会科が楽しくなります。

### 4 テスト勉強の方法

- ・ノートで見直しをしましょう。  
ノートにある、キーワードを中心に復習しましょう。終わったらワークを何回もやってみましょう。
- ・教科書を読みましょう。  
教科書は基本です。本文だけでなく、地図や表なども大切です。楽しんでしっかり読みましょう。よく読むとおもしろいことがいっぱい書いてあります。
- ・社会科は時間をかければかけるほど理解が進みます。やったぶんだけ成果がでます。興味や関心をもってテスト勉強をしましょう。必ず、よい結果になります。



# 数 学 科

## 1 目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。  
(知識・技能)
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。  
(思考・判断・表現)
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。  
(主体的に取り組む態度)

## 2 3年間の学習内容

	1 年	2 年	3 年
4	1 ○ 整数の性質	1 1 式の計算	1 1 多項式の計算
	1 正負の数		
5	2 加法と減法	2 文字式の利用	2 因数分解
	3 乗法と除法		
6	4 正負の数の利用	2 連立方程式とその解き方	3 式の計算の利用
	章の問題		
7	2 1 文字を使った式	3 1 1次関数	2 1 平方根
	2 文字式の計算		
8	3 3 文字式の利用	2 1次関数の性質と調べ方	2 根号をふくむ式の計算
	章の問題		
9	3 1 方程式とその解き方	4 1次関数の利用	3 平方根の利用
	2 1次方程式の利用		
10	章の問題	4 1 説明のしくみ	3 1 2次方程式とその解き方
	4 1 関数と比例・反比例		
11	2 比例の性質を調べ方	3 合同な図形	2 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方
	3 反比例の性質を調べ方		
12	4 比例と反比例の利用	5 1 三角形	3 いろいろな関数の利用
	章の問題		
1	5 1 図形の移動	3 合同な図形	5 1 相似な図形
	2 基本の作図		
2	3 おうぎ形	5 2 平行四辺形	2 相似な図形の面積と体積
	章の問題		
3	6 1 いろいろな立体	7 1 四分位範囲と箱ひげ図	6 1 円周角の定理
	2 立体の見方と調べ方		
4	3 立体の表面積と体積	7 2 確率による説明	2 円周角の定理の利用
	章の問題		
5	7 1 データの整理と分析	章の問題	7 1 三平方の定理
	2 データの活用		
6	3 ことからの起こりやすさ	予備時間 (数学的活動など)	2 三平方の定理の利用
	章の問題		
7	予備時間 (数学的活動など)	予備時間 (数学的活動など)	8 1 標本調査
8		予備時間 (数学的活動など)	予備時間 (数学的活動など)

### 3 学習のポイント

#### ○授業の受け方

学習過程の3つの段階

- ・input : 分かっていること、すでに学習した内容をはっきりさせる。
- ・intake : 自分で考え解釈・処理する。
- ・output : 新たなことを創り出し表現する。

キーワードは、「読む」、「聞く」、「考える」、「書く」、「話す」。

- ・input 問題を読み、内容をつかむ。式・図・線分図・表などを読む(見る)。問題や質問を聞き、内容をつかむ。先生の指示や説明を聞く。問題の意味を考える。問題文の大切な部分に線を引く(書く)。
- ・intake 黒板に書かれたことや友達の考えを読む(見る)。先生の説明、友達の発言や説明を聞く。問題の解決方法を考える。前に学習したことの中から活用できるものを探す(考える)。分かっていることや求めていることを式や図、表などに書く。解決の道筋を書く。自分の考えを話す。疑問点を質問する。
- ・output わかりやすい説明を考える。自分の考えや明らかになったことを整理して書く。自分の考えをわかりやすく説明する(話す)。

#### <授業のノートを充実させよう> ノートの書き方8ヶ条

- さ…さっと消さずに、間違いを残す⇒間違えても消さずに、考え方や解答を書く。
- か…間隔を空けて、書き込み自在⇒余白に自分の考え、友達・先生の説明、間違い直しなどを書く。
- に…2色より多く色を使う⇒赤と黒だけでなく他の色も使って、ノートを見やすくする。
- し…定規を使って、直線はまっすぐ⇒図形や筆算など、直線はまっすぐに引く。
- ス…数字・文字・図は、はっきり丁寧⇒見すぐに分かるように数字や文字、図を丁寧に書く。
- タ…タイトルを書いて、「めあて」を持つ⇒後で見直したときにもその内容がよく分かる。
- イ…イコールをそろえて、美しい計算式⇒方程式や式の計算でイコールをそろえると見やすい。
- ル…ルールを決めて、オリジナルマイノート⇒自分なりのルールを決める。ノートを2分割する、色の使い方を決める、復習できる余白を空けるなど。

#### ○家庭学習の仕方

数学は既に明らかになった事柄をもとに、新しい事柄を組み立てていきます。そのため、学習した内容をしっかり身に付けていることが、学習を進める上で必要不可欠です。今日授業で学習した事柄をもう一度振り返り、確かなものにしましょう。

そして、次に学習する教科書の例題を見て考えてみましょう。どこが分かって、どこが分からないかが分かった上で授業に臨めば、考えるポイントがはっきりします。どう組み立てられているか分かれば、自力で理解することができるでしょう。その時は、授業で発言し、説明してみましょう。

考えを広げてみましょう。教科書の問題と似てるけどちょっと違う問題を考えて、同じところと違うところを明らかにします。同じと違いが分かれば問題のつくりが分かります。新たな問題に出会った時、これは前にやった問題とつくりが同じだ、と分かれば解決の糸口がつかめるはずですよ。

難問に挑戦してみましょう。問題を解決するためには何が必要かということからノーヒントで自分で考えてみます。長時間かけて考えてみるのもよいでしょう。時間をおいて考え直したら解決法がひらめいた、ということもあるものです。そうして解決できた時の喜びはひとしおでしょう。

ポイント … ①負の数 ②証明 ③平方根

### 4 テスト勉強の方法

#### ・教科書・ノートを見直して、基礎基本を身に付けよう！

自分で作ったノートには重要なポイントがたくさん。言葉の意味や計算の仕方など、まとめたものをよく見直して基本事項を確認しましょう。教科書も一緒に見直しましょう。例題、問を自力で解いてみて、基礎基本の内容を理解できているかチェックしましょう。

#### ・色々な問題を解いて、考える力を鍛えよう！

問題集の問題を自力で解いて、考える力を鍛えましょう。問題は教科書の内容に合わせてあるので、学習した内容を使って考えれば、自力で正答を導くことができます。答を導けない時は「解答と解説」の解説の部分をよく見て、どんな考えが足りなかったかを振り返りましょう。そして、解答を忘れかけた頃にもう一度挑戦します。(解答を完全に覚えている時に解いても、結果を思い出してしまえば自分で考えたことになりません。)これを繰り返して、自分で考える力を鍛えましょう。

#### ・計算の正確さとスピードを上げて、計算力を維持・向上させよう！

計算の途中の式を書いて正確に計算できるようにしましょう。途中式は一つの変形で一つの式にします。どんな変形をしたか言葉で説明してみるとさらに理解が深まります。次に、計算のスピードを上げましょう。書くのを省くのではなく、書くスピードを上げます。書きながら次の計算を考えることができるようになります。計算は、考えを正確に進めるために必要な技術。正答にたどり着いた時の喜びを励みに、練習を怠らず、計算力を維持・向上させましょう。

# 理 科

## 1 目標

- 自然のできごとに対する「不思議だな」という気持ちを高める。
- 結果を自分なりに予想し、「何を」、「どのような方法で」といったことに気をつけて観察や実験などを行い、その結果を分かりやすく記録することができる。
- 観察や実験の結果から、考えられることを整理してまとめることができる。
- 自然のできごとに対する理解を深める。

## 2 3年間の学習内容

	1年	2年	3年
4	<b>単元1</b> <b>いろいろな生物とその共通点</b> (26)  第1章 生物の観察と分類のしかた 第2章 植物の分類 第3章 動物の分類 まとめ・単元末問題	<b>単元1</b> <b>化学変化と原子・分子</b> (34)  第1章 物質のなり立ち 第2章 物質どうしの化学変化 第3章 酸素がかかわる化学変化 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 化学変化とその利用 まとめ・単元末問題	<b>単元1</b> <b>化学変化とイオン</b> (28)  第1章 水溶液とイオン 第2章 酸, アルカリとイオン 第3章 化学変化と電池  まとめ・単元末問題
5			
6			
7	<b>単元2</b> <b>身のまわりの物質</b> (27)  第1章 身のまわりの物質とその性質 第2章 気体の性質 第3章 水溶液の性質 第4章 物質の姿と状態変化  まとめ・単元末問題	<b>単元2</b> <b>生物のからだのつくりとはたらき</b> (37)  第1章 生物と細胞 第2章 植物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき 第4章 刺激と反応  まとめ・単元末問題	<b>単元2</b> <b>生命の連続性</b> (26)  第1章 生物の成長と細胞の変化 第2章 遺伝の規則性と遺伝子 第3章 生物の多様性と進化  まとめ・単元末問題
8			
9			
10			
11	<b>単元3</b> <b>身のまわりの現象</b> (26)  第1章 光の世界 第2章 音の世界 第3章 力の世界  まとめ・単元末問題	<b>単元3</b> <b>天気とその変化</b> (33)  第1章 気象の観測 第2章 雲のでき方と前線 第3章 大気の動きと日本の天気  まとめ・単元末問題	<b>単元3</b> <b>運動とエネルギー</b> (31)  第1章 物体の運動の記録 第2章 力のはたらき方 第3章 エネルギーと仕事  まとめ・単元末問題
12			
1			
2	<b>単元4</b> <b>大地の変化</b> (26)  第1章 火をふく大地 第2章 動き続ける大地 第3章 地層から読みとる大地の変化  まとめ・単元末問題	<b>単元4</b> <b>電気の世界</b> (36)  第1章 静電気と放電 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界  まとめ・単元末問題	<b>単元4</b> <b>地球と宇宙</b> (26)  プロローグ 星空をながめよう 第1章 地球の運動と天体の動き 第2章 月と金星の見え方 第3章 宇宙の広がり  まとめ・単元末問題
3			
			<b>単元5</b> <b>地球とわたしたちの未来のために</b> (29)  第1章 自然のなかの生物 第2章 自然環境の調査と保全 第3章 科学技術と人間地域とつながる 終章 持続可能な社会をつくるために  まとめ・単元末問題

### 3 学習のポイント

#### ○授業の受け方

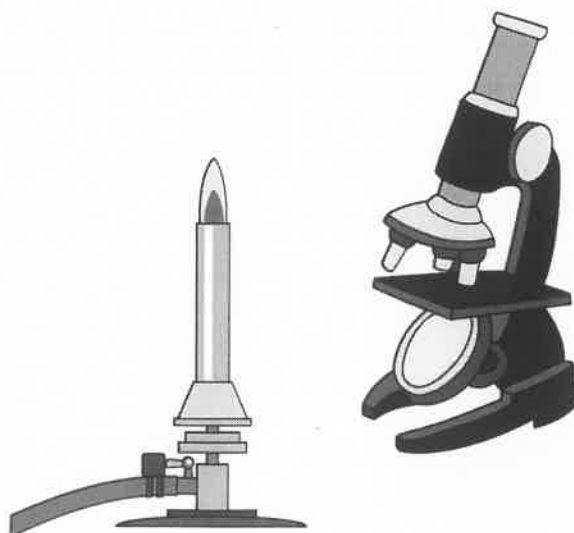
- ・「今、何を学習しているのか」という意識をはっきり持って学習に取り組みましょう。  
観察・実験はあとで思い出せるように一生懸命取り組んでください。
- ・積極的に発言をしていきましょう。
- ・観察や実験は班で協力して取り組みましょう。
- ・先生の話をしっかり聞きましょう。
- ・メモを取りましょう。  
「大切だ!!」と思うところは、ノートやプリントの余白にどんどんメモをしましょう。

#### ○家庭学習の仕方

- ・授業での重要ポイントを中心に復習をしましょう。
- ・毎日の復習が大切です。その日のうち（西中タイム）に確認すると忘れにくくなります。
- ・宿題を忘れないようにしましょう。  
問題などは間違っていてOK!! 授業中での解説をしっかり聞きましょう。
- ・理科に関係のあるテレビ番組やニュースなどを見ましょう。

### 4 テスト勉強の方法

- ・重要語句（教科書の太字）は意味を確認し、なるべく漢字で書けるようにしましょう。  
漢字練習のように、何度も書くとよいでしょう。
- ・ワークの問題は、全問正解ができるぐらい何度も解きましょう。
- ・覚えなければいけないことをはっきりとさせ、しっかりと覚えよう。
- ・実験の操作をするときの注意点とその理由を理解しましょう。特に理由が大切です。  
授業で使ったプリントを見返すと、ポイントがわかります。
- ・作図（光の進み方など）は何度でも練習して正確に書けるようにしましょう。
- ・電流のオームの法則や圧力などでは、計算ができるようにしましょう。  
繰り返し問題練習することが大切です。
- ・植物や動物の各部分の名称など、言葉だけでなく、図と合わせて覚えられるように  
しましょう。
- ・言葉の意味や変化の理由、実験の注意点などは、自分の言葉で文章化して、  
説明できるようにしましょう。



# 英 語 科

## 1 目標

- 英語に慣れ親しむ。
- 初歩的な英文や対話文を聞いて、話し手の伝えたいことなどを理解できるようにする。
- 初歩的な英文を読んで、書いた人の伝えたいことなどを理解できるようにする。
- 学習した英語の表現を用いて、自分の考えなどを書くことができるようにする。
- 学習した英語の表現を用いて、自分の考えなどを話すことができるようにする。

## 2 3年間の学習内容（◎は場面による活動）

月	1 年	2 年	3 年
4	○be 動詞 ○肯定文：I am ~./You are ~. 疑問文、否定文 ○be 動詞 ○肯定文：I am ~./You are ~. 疑問文、否定文	◎スピーチ (Show and Tell) ○be 動詞の過去形 と過去進行形 ○be going to, will (未来) ○文型 [SVOO, SVOC] ◎ホテルでのトラブル	◎スピーチ (Show and Tell) 文の並べ替え ○受動態 ○現在完了形[経験] 文型 [SVOC, SVOO]
5	○助動詞 can ○This [That/He/She] is ~. Is this [that] ~?の文 ○一般動詞, What...? Who...? ○Where...? When...?	○be going to (未来) will の文 ○接続詞 [if, that, when, because] ◎ていねいなお願い	○現在完了形[完了] ○現在完了形[継続] ○現在完了進行形 ◎はじめての出会い ◎有名人への手紙
6	○I want to ○How many...? What time? ○命令文	○不定詞 「～ために」「～こと」 「～のための…」 「～して」 It is ..to ~	○受け身、現在完了形、 現在完了進行形 ○不定詞(2) [It ... (for...) to ~, want ... to ~, let... 動詞の原形
7	○疑問詞で始まる疑問文 ◎自己紹介 私の好きなもの ○like ...ing	◎将来の自分へ ○長文 (総復習 1)	◎学校での活動、経験 ○長文読解 (総復習 1) ○間接疑問文
8 / 9	○名詞の複数形 ○一般動詞[3人称単数]	◎夏休み、お礼状 ○助動詞[have to, will, must] ○動名詞 ...ing	○間接疑問文, 分詞 ○接触節
10	○疑問詞で始まる疑問文 ○現在進行形 ○感嘆文	◎電話での応答 ○疑問詞+to ○主語+動詞+人+to ◎電車の乗り換え	◎グラフや表の活用, 修学旅行 ○分詞を用いた後置修飾
11	◎お祝いカード ○I want [try, need] to ◎道案内	○疑問詞+to, 比較表現(形容 詞, 副詞) better, best, as~as ◎クラスのことを伝えよう	○関係代名詞 who which that (主格、目的格) ◎食品の選択, 中学の思い出
12	◎マイヒーロー ◎長文読解 (総復習 1)	◎長文読解 (総復習 2)	◎日本や郷土文化の紹介 ○仮定法 I wish I could [had] If+主語+were
1	○規則・不規則動詞の過去形 ◎旅先からの便り	○比較表現, 受け身 ◎長文読解 (総復習 3)	○長文読解 (総復習 2) ◎ミニディベート
2	○be 動詞の過去形 ◎レストランでの会話 ○There is (are) ~. の文	◎電話でのやりとり ◎おすすめの町	○長文読解 (総復習 3)
3	◎学校行事を発表しよう ○長文読解 (総復 2)	○長文読解 (総復習 4)	○問題演習

### 3 学習のポイント

#### ○ 授業の受け方

- ・ 毎時間の授業で、そのときに学習していることに集中して取り組もう  
どの教科の授業でも集中することはとても大切ですが、英語の授業では流れの中でいろいろな活動を行います。「読む」「書く」「聞く」「話す」をバランスよく身につけるためには、今何を学習しているかしっかりわかって活動することが重要です。
- ・ 英語活動に積極的に参加しよう  
みなさんが日本語を話せるのは、小さいときから毎日使ってきているからです。英語も「ことば」ですから、くり返し使っていけば覚えられます。授業では、どんどん発言し声に出して慣れることがいちばん大切です。
- ・ ALTの先生と仲良くしよう  
生の英語に触れることは英語上達の近道です。簡単なあいさつや授業で習った会話表現を使って、ALTの先生にどんどん話しかけましょう。たとえ、その英語が間違えていても問題ありません。「話しかけてみよう！」・・・その気持ちが大切です。ALTの先生と仲良くなれた人はどんどん英語が上達していきます。
- ・ 目・耳・口・手を最大限に活用しよう  
英語学習の目標はコミュニケーションできるようになることです。体全体で表現し、理解することが肝心です。ですから、単語練習であっても、単語をよく見て(目)、大きな声で(口)、正しく発音しながら(耳)、何度も書いて(手)覚えるといった工夫をすることが大切です。

#### ○ 家庭学習の仕方

- ・ 予習・復習を忘れずに！
- ・ 教科書を何度もくり返し音読し、暗唱できるようにする。  
→ (大きな声、正しい発音、正しいリズムを意識して読もう！)
- ・ 単語練習は意味とつづりを書いて覚える。→ (ながめているだけでは覚えられません。何度もくり返して、覚えるまで書くことが肝心です。)
- ・ 絵やキーワードを見て内容を言えるようにくり返し練習する。
- ・ 教科書の本文を一文ずつ読みながらノートに書く。(音読筆写)
- ・ 習った部分のワークは早めにやって確認をする。

### 4 テスト勉強の方法

- ・ まずは単語から。発音・つづり・意味・使い方をしっかり覚える。
- ・ 基本表現をしっかり覚え、ほかの語と入れかえてもわかるようにする。
- ・ 慣用表現は使う場面を含めて、しっかり覚える。
- ・ ワークの再確認をする。(間違えたところから学習が始まります。ワークに挑戦して、間違えたところ、よくわからなかったところをノートに写し、再挑戦してください。間違いを減らしていくことがテストでの高得点になります。)

※英語はくり返し学習が必要な教科です。毎日コツコツ学習することがテスト勉強になります。また、家ではなかなかできない「聞く」「話す」の学習はやはり授業が大切です。聞き取りテストや会話のテストもありますので、しっかり先生の話聞いて、授業に積極的に取り組みましょう。

*Practice makes perfect!*

# 音 楽 科

## 1 目標

- 曲想や音楽の構造などとの関わりを理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付ける。
- 歌詞や音楽を形作っている要素や特質、雰囲気などを感じ取りながら、思いや意図を持って表現を工夫したり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。
- 自ら進んで、仲間とともに音楽を楽しみながら、表現や鑑賞をしようとする。

## 2 3年間の学習内容

1 年	2 年	3 年
<ul style="list-style-type: none"> <li>♪オリエンテーション</li> <li>・ 境西中学校校歌</li> <li>・ 高原学校校歌・キャンプファイヤーの歌</li> <li>・ We'll Find The Way</li> <li>・ その先に</li> <li>♪旋律のまとまりと構成</li> <li>・ 主人は冷たい土の中に</li> <li>♪情景と音楽との関わり</li> <li>・ ジョーズのテーマ</li> <li>・ 鑑賞「春（四季より）」</li> <li>♪リズムで楽しもう</li> <li>・ リズムゲーム、アンサンブル、チャレンジ</li> <li>♪合唱の喜びⅠ</li> <li>・ 朝の風に（課題曲）</li> <li>・ クラス合唱曲（自由曲）</li> <li>・ 学年合唱曲</li> <li>♪曲想と音楽の構造Ⅰ</li> <li>・ 鑑賞「魔王」</li> <li>♪日本の歌のよさと表現</li> <li>・ 赤とんぼ・浜辺の歌</li> <li>♪日本の民謡と英語で歌おう</li> <li>・ ツラン備・Edelweiss</li> <li>♪創作一音のつながり方</li> <li>・ My Melody</li> <li>♪日本の伝統音楽とアジアの諸民族の音楽</li> <li>・ 雅楽「平調越天楽」</li> <li>・ アジアの諸民族の音楽</li> <li>・ 箏曲「六段の調」</li> <li>♪3年生を送る会・卒業式にむけて</li> <li>・ 合唱曲・国歌 君が代</li> <li>♪箏を弾こう</li> <li>・ 平調子</li> <li>・ 虫づくし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>♪合唱の表現の工夫</li> <li>・ 夢の世界を</li> <li>・ 翼をください</li> <li>♪箏に親しもう</li> <li>・ さくらさくら、旋律創作</li> <li>♪曲想と音楽の構造Ⅱ</li> <li>・ フーガト短調</li> <li>♪創作一音素材の特徴と構成・Let's Create!</li> <li>・ リズムゲーム、アンサンブル</li> <li>♪合唱の喜びⅡ</li> <li>・ 夏の日の贈りもの（課題曲）</li> <li>・ クラス合唱曲（自由曲）</li> <li>・ 学年合唱曲</li> <li>♪曲想を生かして</li> <li>・ 夏の思い出</li> <li>・ 荒城の月</li> <li>・ サントルチア</li> <li>♪オーケストラの響き</li> <li>・ 交響曲第5番「運命」</li> <li>・ 移動音楽教室</li> <li>♪言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう</li> <li>・ My Melody</li> <li>♪舞台芸術と音楽</li> <li>・ オペラ「アイーダ」</li> <li>・ 歌舞伎「勧進帳」</li> <li>♪3年生を送る会・卒業式にむけて</li> <li>・ 合唱曲</li> <li>・ 国家 君が代</li> <li>♪ギターを弾こう</li> <li>・ 音階</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>♪日本の歌</li> <li>・ 花</li> <li>♪ギターに親しもう</li> <li>・ コードの仕組み</li> <li>・ カントリーロード</li> <li>♪歌い方の工夫</li> <li>・ 帰れソレント</li> <li>・ 能「敦盛」</li> <li>♪創作一音素材の特徴と構成</li> <li>・ Let's Create!</li> <li>♪合唱の喜びⅢ</li> <li>・ クラス合唱曲（自由曲）</li> <li>・ 学年合唱曲</li> <li>♪音楽の特徴や背景を理解して魅力を味わおう</li> <li>・ ブルタバ（モルダウ）</li> <li>・ ボレロ</li> <li>♪創作一音のつながり方</li> <li>・ My Melody</li> <li>♪ポピュラー音楽の魅力</li> <li>・ ポピュラー音楽</li> <li>♪3年生を送る会</li> <li>・ 合唱曲</li> <li>♪こころの歌</li> <li>・ 花の街</li> <li>・ 早春賦</li> <li>♪卒業式にむけて</li> <li>・ 旅立ちの日に</li> <li>・ 国家 君が代</li> </ul>

### 3 学習のポイント

#### ○授業の受け方

##### ～授業の3つの約束～

##### 1、遅れない

→ ・チャイムで授業を始められるように、音楽室に移動しましょう。

##### 2、忘れない

→ ・授業に必要な持ち物は音楽バッグに入れておきます。  
(○教科書「中学生の音楽」「器楽」、○ファイル、○合唱曲集、  
○ワーク、○筆記用具、○音楽バッグ)  
・忘れ物をしたら、友達に借りずに授業前に先生に報告しましょう。

##### 3、その時のベストを尽くす

→ ・風邪やケガ等で体調が優れないときは、授業前に先生に報告・相談しましょう。

#### ○学習の仕方

##### ～心を 耳を 目を開こう！！～

##### 1、心を開こう！

“音楽は心のメッセージ”です。作曲家、演奏家のメッセージをつかもう。  
「やってみよう」「面白そう」と心を開きましょう。

##### 2、耳を開こう！

音で伝わってくるメッセージを耳で受け取ろう。自分の出している声、  
友達の声、よく聞いて受け止めよう。鑑賞では、表面だけでなく、音色や主  
題や作曲者の意図を聴き取ろう。

##### 3、目を開こう！

心と耳で受け止めただけでは不十分。例えば、歌っている姿勢や表情や歌  
詞の内容の工夫、作曲者の背景など目を開くことで学習として定着しよう。

### 4 テスト勉強の仕方

- ・授業時数が週に1時間と大変少ないので、毎時間の授業を大切にしてください。
- ・楽譜や教科書に書き込んだこと、授業で使ったプリント、ワークをもう一度ま  
とめておくとよいでしょう。
- ・学習した曲は教科書記載の正式名称で書けるようにしましょう。
- ・授業で歌った曲をもう一度歌って、拍子・速度（テンポ）  
調を覚えて、歌詞の内容・強弱の働き・曲想の変化等を  
確認しておきましょう。
- ・鑑賞曲は、教科書やプリントの作曲者と作曲された背景などを  
含む楽曲についても確認しておきましょう。





# 美術科単元配列表

## 1 目標

- 対象の良さや美しさを理解し、表現方法を工夫し、創造的に表現できる。(知識・技能)
- 美術の働きを考えるとともに、表現の意図を工夫し、豊かに発想し構想を練り、表現できる。(思考・判断・表現力)
- 美術の創造活動を楽しみながら、主体的に表現及び鑑賞の学習に取り組む事ができる。(主体的に取り組む態度)

## 2 3年間の学習内容

1年(45時間)			2年(35時間)			3年(35時間)		
月	時間	内容	月	時間	内容	月	時間	内容
4	4	オリエンテーション(1) 【鑑賞】(1)	4	2	【鑑賞】(1)           【絵画】(15)           「自画像」	4	2	【鑑賞】(1)
		【絵画】(4)	5	4		5	4	【絵画】(11)    「模写」
5	6	「スケッチの楽しみ」 【デザイン】(4)	6	4		6	4	
		色との出会い 「ポスターの使い方」	7	2		7	2	
6	6	【デザイン】(4) レタリング 「名前をデザインしよう」	8	4		8	4	
7	2	【デザイン】(10) 「暖色と寒色による 構成」	9			9	4	【工芸彫刻】(12) 篆刻 「印鑑」
8	6		10	4		10	5	
9	2		【工芸・彫刻】(12) 「銅板トレー」	11		4	11	4
10	6	12		2		12	2	
11	4	1		2		1	2	
12	2	【絵画】(9) 「花を描こう」		2	4	2	4	
1	2		3	3	3	2		
2	4		3	3	3	2		
3	3							

### 3 学習のポイント

#### (1) 学習する内容

美術は、週に1年生は、Ⅰ期は1.5時間、Ⅱ期に2時間、2・3年生は、1時間の学習時間があります。学習する内容には、大きく分けて『絵画』『デザイン』『工芸』などの作品に表現する分野と『鑑賞』して学ぶ分野があります。

#### (2) 授業を受ける上での心構えと家庭でできること

①うまく描こう、うまくつくろうではなく、人と違ったもの（個性的）を！という気持ちで、積極的に授業参加しよう！たくさんの作品に触れることで、感性が豊かになります。

日頃から友達同士で、または、親子で美術館・博物館にぜひ足を運んでほしいと思います。本物に触れることが大切です。画集をパラパラ観るのもいいですね。

②作品完成までの過程を大切に、その時間の目標を明確にしよう！

手の遅いことは、悪いことではありません。でも、決められた時間に仕上げなければならないこともあります。期限を守って提出することが大切です。

自分の制作スピードを考えて自分なりの制作計画を立ててみよう。そして期限を守って提出できるようにしましょう。

③授業への集中力と持続するための意志が大切です。「おしゃべりをしながらでは」では、いい作品は作れません。真剣に100m走の記録を取るときに隣のコースの人とおしゃべりをしながら走る人はいません。何をやるのも同じです。今、自分の思いを作品にするのにどういう工夫をしたらいいか試行錯誤する。目の前のあるものを真剣に観察し、デッサンをする。何かに真剣に取り組むときにおしゃべりはありません。

④準備するものをしっかり用意しよう。忘れ物をすると、その日の作業ができません。

⑤自分の作品、仲間の作品を共に大切にしよう。持ち帰った作品は、部屋に飾ったり、実際の生活の中で使ってみましょう。

#### (3) 評価について

完成作品のみで評価しません。完成までの過程（アイデアスケッチ、下描き提出・途中提出があります。）授業態度（授業遅刻・授業態度・忘れ物など）なども含み、総合評価とします。

# 保健体育科

## 1. 目標

- 自ら進んで運動を実施し、運動の楽しさや喜びを体得しようとする。また個人生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。
- 自己の能力に適した運動の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫することができる。
- 運動の楽しさや喜びを味わうために必要な技能や体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけることができる。
- 運動の特性と運動の合理的な実践に関する基礎的な事項や生活における運動の意義を理解し、身につけることができる。また個人生活の健康・安全について課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけることができる。

## 2. 学習内容

月	1年生(105時間)		2年生(105時間)		3年生(105時間)	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
4	体づくり運動⑦	体づくり運動⑦	体づくり運動⑦	体づくり運動⑦	体づくり運動⑦	体づくり運動⑦
5	陸上競技(短距離走・リレー)⑥	陸上競技(短距離走・リレー)⑥	陸上競技(短距離走・リレー)⑥	陸上競技(短距離走・リレー)⑥	陸上競技(短距離走・リレー)⑥	陸上競技(短距離走・リレー)⑥
6						
7	水泳⑦	水泳⑦	水泳⑦	水泳⑦	水泳⑦	水泳⑦
8・9	器械運動⑦	器械運動⑦	器械運動⑦	器械運動⑦	器械運動⑦	器械運動⑦
10	陸上競技(長距離走・走り幅跳び)⑧	陸上競技(長距離走・走り幅跳び)⑧	陸上競技(長距離走・ハードル・走り高跳び)⑧	陸上競技(長距離走・ハードル・走り高跳び)⑧	陸上競技(長距離走・ハードル・走り高跳び・走り幅跳び)⑧※選択種目あり	陸上競技(長距離走・ハードル・走り高跳び・走り幅跳び)⑧※選択種目あり
11	柔道⑦	ソフトテニス⑦	柔道⑦	ソフトテニス⑦	柔道⑦	ソフトテニス⑦
	ソフトテニス⑦	柔道⑦	ソフトテニス⑦	柔道⑦	ソフトテニス⑦	柔道⑦
	ダンス⑦	ダンス⑦	ダンス⑦	ダンス⑦	ダンス⑦	ダンス⑦
12	サッカー⑦	バスケット⑦	サッカー⑦	バスケット⑦	サッカー⑦	バスケット⑦
1	バスケット⑦	サッカー⑦	バスケット⑦	サッカー⑦	バスケット⑦	サッカー⑦
2	ソフトボール⑦	バレーボール⑦	ソフトボール⑦	バレーボール⑦	選択球技 ソフトボール・バレーボール・バドミントン⑭	選択球技 ソフトボール・バレーボール・バドミントン⑭
3	バレーボール⑦	ソフトボール⑦	バレーボール⑦	ソフトボール⑦	選択球技 ソフトボール・バレーボール・バドミントン⑭	選択球技 ソフトボール・バレーボール・バドミントン⑭

### 3. 学習のポイント

○きびきびとした行動をし、学習に集中すること

やる気を全身で表現するのが保健体育という教科です。これによって1時間の活動の量や質が大きく変わってきます。また、安全を確保することにもつながります。

○運動のポイントを意識し、苦手なものでもすすんで取り組むこと

自分の活動がどうだったかを常に振り返ることも大切。これができれば今までできなかったものもできるようになります。運動は気持ちが第一！

○仲間と協力し、教え合い、励まし合いながら取り組むこと

これによって得意な人はよりその理解が深まり、また苦手な人も上手にできるようになります。

○普段から健康管理に努めること

心身を元気にして授業に臨むことで大きな成果が生まれます。

### 4. テストの勉強方法

○体育・保健両分野とも普段の授業が命！8割はここで決まります。

○体育分野については、普段の授業でノートをとったりする時間はありません。

したがって目や耳でしっかり理解することが重要になります。運動のポイントやルールをしっかり意識して授業に臨んでください。また学習カードや図解、資料等にしっかり目を通し、活用することも大切です。

○保健分野については教科書をよく読み、学習ノートでしっかりまとめましょう。



## 技術・家庭科（技術分野）

### 1 目標

- 便利な生活！夢をかたちに！  
ものづくりやコンピュータをもっともっと活用しよう
- こういう物があると便利だな！こうなっていると使いやすいな！  
問題点を探し、解決できるよう工夫しよう
- 正しい使い方を覚えれば怖くない！壊れない！  
色々な道具（含むコンピュータ）を安全に活用できるテクニックを身につけよう
- 使えるだけでは本物じゃない！いろいろ知ってプロになろう！  
生活や産業に必ず関わっている技術。

### 2 3年間の学習内容

1年	2年		3年
<p><b>材料と加工</b></p> <p><b>材料と加工法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇材料と加工の技術</li> <li>◇材料の基本的な性質</li> <li>◇製品を丈夫にする工夫</li> <li>◇材料に適した加工法</li> <li>◇工具や機器の安全な使用</li> </ul> <p><b>製作品の設計・製作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇製図                             <ul style="list-style-type: none"> <li>キャビネット図</li> <li>等角図</li> </ul> </li> <li>◇製作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>部品加工</li> <li>組み立て</li> <li>仕上げ</li> </ul> </li> </ul> <p><b>材料と加工の技術の評価・活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇持続可能な社会のための技術</li> </ul>	<p><b>エネルギー変換</b></p> <p><b>エネルギーの変換・利用と保守点検</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇電気を供給する仕組み</li> <li>◇電気エネルギーの変換と利用方法</li> <li>◇動きを伝達する仕組み</li> </ul> <p><b>製作品の設計・制作</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇エネルギー変換を利用した製作品</li> </ul> <p><b>エネルギー変換技術の評価・活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇エネルギーの有効利用</li> </ul>	<p><b>生物育成</b></p> <p><b>生物を育てる技術の特徴</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇人・生物・環境のかかわり</li> <li>◇植物を育てる技術</li> <li>◇動物を育てる技術</li> </ul> <p><b>生物を育てるための計画と管理</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇生物の育成計画</li> </ul> <p><b>生物を育てる技術の評価・活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇生物を育てる技術とかかわり</li> </ul>	<p><b>情報</b></p> <p><b>コンピュータと情報通信ネットワークの活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇コンピュータの仕組み</li> <li>◇情報をコンピュータに取り込む</li> <li>◇情報通信ネットワークの仕組み</li> <li>◇情報モラルを身につけ情報を安全に利用</li> </ul> <p><b>プログラムによる計測・制御</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇計測・制御システム</li> <li>◇プログラムの役割・機能</li> <li>◇簡単な計測・制御</li> </ul> <p><b>双方向性プログラム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ネットワークの中で、双方向性プログラムの作成及び、問題解決</li> </ul>

### 3 学習のポイント

#### ○授業の受け方

技術・家庭科の授業は、ただ作業するだけの教科ではありません。次のことができると授業がより充実します。

- ・行った作業や操作は必ずメモに残し、同じ事を効率よくできるよう心がける。
- ・使った工具の名前や使い方は必ず覚える（人に教えられるくらいに）。
- ・ものづくりではまず安全第一（慣れた頃が最も危険！）
- ・普段の生活を振り返り、いつも「どうすれば便利で快適になるか」チェックしておく。
- ・専用のノートは用意しなくても良いが、配布されたプリント等の裏や空いているところにどんどんメモをとる。板書以外で、先生の話の中に大切な事柄が隠れているかも・・・。
- ・週1回の授業なので、特に作業の時は「日付・作業内容」をきちんとメモしておく。

#### ○家庭学習の仕方

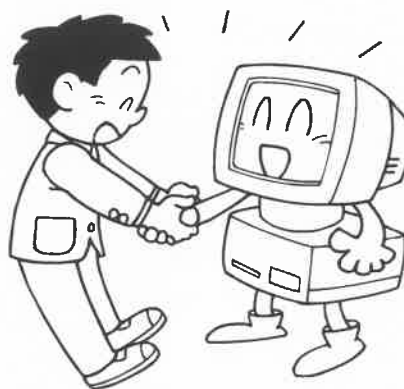
机に向かって暗記を繰り返すよりも、習ったこと・覚えたことを家で話題に出してみよう。また、機会があれば、安全に配慮しながら、家で修理や製作にチャレンジしてみよう。

### 4 テスト勉強の方法

- ・教科書やプリントをしっかりと読み返す。
- ・大切なところや要点を自分なりにまとめる。
- ・配布されたプリントを絶対になくさず、テスト前に3回以上やり直してみる。
- ・重要語句は漢字で正しく書けるように練習する。
- ・学校では、友達と問題を出し合おう。

技術・家庭科は

ものづくり  
思い出づくり  
人づくり



# 技術・家庭科（家庭分野）

## 1 目標

- 実践的・体験的な学習活動を通して自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得する。
- 身近な生活の中から課題を見つけ、生活をよりよくしようと工夫し、実行しようとする態度を身につける。

## 2 3年間の学習内容

学 年	学 習 内 容	具 体 的 内 容
1 年	私たちの食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事の役割と中学生の栄養の特徴を知る。</li> <li>・ 中学生に必要な栄養を満たす食事を考える。</li> <li>・ 調理のための食品の選択と購入について知る。</li> <li>・ 日常食の調理と地域の食文化について知る。</li> <li>・ 弁当の日に向けて、弁当作りの基礎を知る。</li> </ul>
	私たちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手縫いの基礎を練習し、作品製作を行う。</li> </ul>
2 年	私たちの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衣服の選択と手入れについて知る。</li> <li>西中の体育着・制服を調べる。</li> <li>・ 生活を豊かにする布製品を製作する。</li> </ul>
	私たちの住生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住まいの役割と安全な住まい方について知る。</li> <li>・ 生活の課題を見つけ、計画し、実践を行う。</li> </ul>
	私たちの消費生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私たちの消費生活について知る。</li> <li>・ 責任ある消費者としてできることを考える。</li> </ul>
3 年	私たちの成長と家族・地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族・家庭と地域について考える。</li> <li>・ 幼児の生活と家族について知る。</li> <li>・ 幼児のためのおもちゃ作りをする。</li> <li>・ 幼児と交流し理解を深める。</li> <li>・ これからの家族と地域について考える。</li> </ul>

### 3 学習のポイント

#### ○授業の受け方

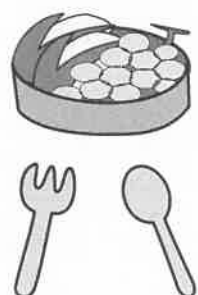
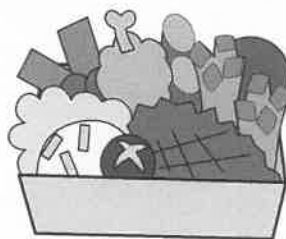
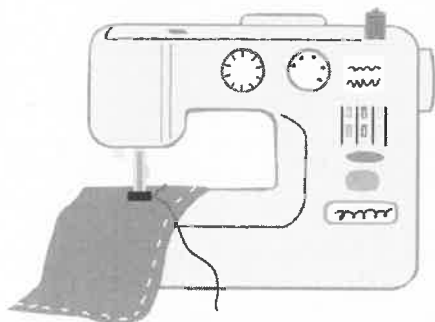
- ・今学習していることと自分の家庭生活とをいつも関連づけて考えていきましょう。
- ・学校で実習したことは実生活でもかならず試してみましよう。
- ・作品は最後までていねいに作業をして、学校で必ず仕上げ、提出しましょう。
- ・調理実習は、班の人と協力して積極的に取り組み、後かたづけもきちんとやりましよう。
- ・自分の意見は積極的に発表しましよう。
- ・毎時間使う学習プリントはていねいに書き込み、提出しましよう。必要なメモを書き込んでかまいません。

#### ○家庭学習の仕方

- ・家庭での実践課題は必ずやって、決められた日までに**提出**しましよう。
- ・衣食住に関する仕事の中で、**自分でできることは自分でやる**ことが家庭科の予習になります。
- ・授業で学習したことをもとに、自分の**家庭生活を振り返って、改善**できることは改善していこうと行動することが復習につながり、**得来自立する**とき役に立ちます。
- ・テレビ、新聞、インターネットなどから衣食住に関する情報の収集を行い、多くの情報の中から、**確かな情報**を選び、**実生活で活用**する力をつけましよう。

### 4 テスト勉強の方法

- ・授業時数が少ないので、毎時間の授業を大事にして下さい。
- ・授業で使用したプリントはきちんとファイルし、試験前にはよく読んでおくことが大切です。
- ・学習プリントのほかに教科書や資料などもよく見て確認しておきましよう。





3年生の皆さんへ！

# 入試対策のポイント



## 国語科



国語には点のとりやすい分野と、点が伸びにくい分野とがあります。

◎とりやすい分野…漢字(読み・書き)、文法、古文、漢文、文学史

→覚えることが中心の分野です。ここで確実に得点できるようにしましょう。

◎伸びにくい分野…読解(特に文学的文章)

→問題演習で、様々な文章の問題を解き、傾向をつかみましよう。

・記述問題は、模範解答と自分の解答を見比べ、解説をよく読んで答え方のコツをつかみましよう。

・読書習慣も読解力に直結します。文豪と呼ばれる作家の作品や、読書感想文の課題図書などを読んでおくことをお勧めします。

そして、難解なのが！

☆「作文」や「要旨をまとめる」問題

→これはたくさん書き、添削してもらわないと、なかなか力がつきません。

書いたものを持ってきてくれれば、いつでも添削します。

※大問をはじめに確認し、確実に得点できる問題から取り組みましよう。

160～200字の短作文は、12分以内で書けるように練習しておきましよう。

文字はB以上の鉛筆やシャーペンの芯で濃く書くことをお勧めします。

特に漢字は楷書で、とめ、はね、はらいなどに気をつけて一画一画を丁寧に書きましよう。



## 社会科



☆記述問題は、やっているうちに慣れてきます。挑戦し続ける姿勢が大切です。

☆絵や資料を使った問題が多い。統計資料も多い。いろいろな資料を使った問題に触れておくこと。

3年生の残り時間は限られています。問題集をどんどんやること。一度だけでなく二度三度と繰り返しやること。一度目でわからなかった問題には、必ずチェックを入れておくこと。そうすると、自分の「苦手」が分かってきます。勉強とは、自分の「苦手」を知ることが第一歩です。

また、過去問に取り組むことによって、問題の難易度や時間配分(多くの人が時間が足りないという感想を持つはず)を肌で感じるすることができます。

陥りやすいミスは、「中1の段階から総復習だ」と意気込んで、ノートをもう一度まとめ直したり、地図や分布図を直筆で隅々まで書いたりすることです。これだと、仕事量が多いので、勉強した気分になるのですが、意外と身になっていないことが多いです。成果がゼロとまでは言いませんが、有効な時間の使い方ではありませんね。



# 数学科



3年間のまとめ問題集を1冊(例えば、新研究)用意し、一通りやる。そして、できなかった問題をチェックする。そうすることで、関数がよく分からないとか、図形が苦手とか、現時点での自分の不得意部分が分かってきます。

不十分な部分が把握できたら、その内容を徹底的に復習。教科書を読み直すと「こんなところにこんな重要なことが書かれていたの！」と驚くこともしばしば。「分からなかったら教科書に戻る」ことは、なかなか有効。

一通り復習が終わったら、同じ問題集をもう一度やる。ただし、1回目に間違えた問題だけを解き、できなかった問題をまたチェック。これが復習の足りなかった部分なので、再度しっかりと確認する。

そして、また、間違えた問題をやり直す。チェック。やり直す、チェック…。

このように、全部正解するまで繰り返し繰り返しやることで、解き方・考え方が身につきます。1冊終わったら、別の問題集を同じようにやってみよう。いろいろな問題集に同時に手を出すより、1冊にじっくり取り組み、確実に解けるようにしていく方が、数学の力がつきます。どんどん問題を解いて、全問OK! という問題集がたくさんできるといいですね。



# 理科



- 一学期～夏休み前半 → 基本をしっかりと身に付ける。  
※ここで、しっかり確認しないと苦しくなります。  
教科書・新研究(A問題)などで1・2年生の復習を何度も繰り返す。
- 夏休み後半～二学期 → 過去問など問題にたくさん取り組んでなれる。少し応用的な問題集(新研究B問題など)にも取り組んで、苦手分野の克服をしよう。
- 二学期後半～入試直前 → 入試に向けてまとめをする。  
薄めの問題集や過去問題などで苦手なところに取り組む。

1・2年生の時に理科が苦手だった人や、あまり勉強していなかった人でも、早めに取りかかれば取り返せます、間に合います。まとめの書かれているような問題集で基本からやり直すのも一つの手です。グラフを描く問題や文章で説明する問題が群馬県ではほぼ出題されています。



# 英語科



- 英文読解**対策 ⇒ 文法の復習と演習、単語を書いて覚える(辞書をたくさん使う)  
◎暗記分野の文法や単語を覚えるまでくり返し、理解分野の英文読解にすすむ。  
◎長文読解問題で1語1語の意味を考えて読むと試験時間が足りなくなってしまうので、あらすじを早くつかむことが重要。“慣れ”が必要不可欠

- 英作文**対策 ⇒ 熟語・連語を書いて覚える  
◎熟語・連語を覚えてから英作文をやってみる。そうすれば学習効率よくなる。  
◎自分の立場を明らかにして(賛成か反対か)、理由を書く自由英作文が、多くなっている。基礎的な文法事項と単語を1語でも多く身につける他、自分の意見をもつことが大切。

- 三年の内容は、教科書中心の暗記をし、ワークなどの問題をくり返す。新研究をしっかりとやろう。
- 間違えてもいいから、テスト問題をたくさん解き、テストの問題に慣れる。(過去問題をやろう!)
- リスニング問題の配点が全体の約3割程度と多くなっています。英文のスピードや問題に対応していくために、リスニング問題に慣れ、英文を聞いてその内容を把握する力を鍛えておこう。

## 1 中学校の生活

- ① 3年間である。
- ② 教科担任制である（教科ごとに先生が変わる）
- ③ 教科等のちがい（新しい教科、教科名が変わる教科など）

授業時間：50分

教科：国語，社会，**数学**，理科，音楽，**美術**，保健体育，**技術・家庭**，**英語**  
領域：道徳，特別活動（学級活動，生徒会活動），総合的な学習の時間

- ④ 学習の内容が難しくなる（予習や復習が必要である）
- ⑤ 中間・期末テストがある（テストをまとめて行う日がある）
- ⑥ 部活動がある（放課後の課外活動）
- ⑦ 自主的、自発的な活動をする（生徒会・諸行事等）
- ⑧ 自主的に進路を選択、決定する（卒業後の進路を選ぶ）

## 2 境西中学校の概要

### ① 教育目標

〔基本目標〕

笑顔あふれ活力ある生徒の育成

〔具体目標〕（目指す生徒像）

- 自ら学ぶ生徒（確かな学力）
- 思いやりのある生徒（豊かな人間性）
- たくましく生きる生徒（健康・体力）

学校スローガン「生きる力を育む」

### ② 1年生生徒数・学級数

学 年 1年  
生徒数 46  
学級数 2

### ③ 職員数 26名

校長1 教頭1 事務長1 教諭14 養護教諭1 再任用(短時間)1  
スクールカウンセラー1 学校教育相談員1 教育支援員1 校務支援員1  
労務技士1 ALT1 図書館事務職員1

### ④ 主な行事

一学期	二学期	三学期
入学式	3年 修学旅行	2年 移動音楽教室
二者面談	2年 職場体験（3日間）	三年生を送る会
1年 高原学校	中体連大会（新人）	卒業式
体育祭	文化祭	
中体連大会（総体）	三者面談	
2年 東京班別学習	3年 小中特支合同音楽会	

⑤ 各学年の各教科毎授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	合計
1 学年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2 学年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3 学年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

○全学年通年で行う。

○1年は、前期：4～11月(20週)は音楽1・美術1・芸術1(音楽・美術を隔週実施)、  
後期：11～3月(15週)は美術1・音楽1・総合1になる。

[1 学年]

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	合計
週時数	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
合計	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015

[2 学年]

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	合計
週時数	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
合計	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015

[3 学年]

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	学活	総合	合計
週時数	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29
合計	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

⑥ 総合的な学習の時間

○1年：いこいの里交流を主とした福祉ボランティア学習(50時間)

※11月からの総合の時間は、芸術(隔週の音楽・美術)が1時間少なくなった時間に行います。

○2年：チャレンジウィークの課題追究・特別支援学校交流を主とした福祉ボランティア学習(70時間)

○3年：保育園交流を主とした福祉ボランティア学習(70時間)

⑦ テスト

■ 定期テストについて

○期末テストは3日間で実施。

○2学期中間テストは1日で実施。

○3年3学期の期末テストは5教科1日で実施。

○テスト前の部活動停止は1学期は3日前、2・3学期期末テストは5日前からとする。

○期末テスト当日の1校時および中間テストの朝読書の時間は、各自テスト勉強を行う。

○日程

中間テスト

2 学期	日	時	1	2	3	4	5
	10/10	(木)	国	数	英	社	理

期末テスト

1 学期	日	時	1	2	3	4	5	6
	6/25	(火)	自習	国	技・家	英		
	6/26	(水)	自習	音	数	理		
	6/27	(木)	社	保体	避難訓練	授業	授業	

2 学期	日	時	1	2	3	4	5	6
	11/18	(月)	自習	音	理	国		
	11/19	(火)	自習	英	保体	社		
	11/20	(水)	数	技・家	避難訓練	授業	授業	

3 学期

3 年	日 時	1	2	3	4	5
	2/6(木)	国	数	英	社	理

1・2年

	日 時	1	2	3	4	5
	2/19(水)	自習	保体	数	社	
	2/20(木)	自習	技・家	国	英	
	2/21(金)	音	理	避難訓練	授業	授業

■学力テストについて

NRT …… 4月10日(水) 1・2年実施

実力テスト…… 3月 6日(木) 1・2年実施

■3年復習テストについて(予定)

年間8回実施……第1回 4月10日(水)、第2回 5月10日(金)

第3回 6月 4日(火)、第4回 7月 8日(月)

第5回 9月 3日(火)、第6回 9月11日(木)

第7回 10月15日(火)、第8回 12月 6日(金)

⑧校時表

《校時表》

	通常校時	短縮校時
始業時間	8:20	8:20
学 活	8:20～8:25	8:20～8:25
朝読書	8:25～8:35	8:25～8:35
1校時	8:45～9:35	8:45～9:30
2校時	9:45～10:35	9:40～10:25
3校時	10:45～11:35	10:35～11:20
4校時	11:45～12:35	11:30～12:15
給 食	12:35～13:10	12:15～12:50
清 掃	13:10～13:25	12:50～13:05
昼休み	13:25～13:45	13:05～13:15
5校時	13:45～14:35	13:20～14:05
6校時	14:45～15:35	14:15～15:00
西中タイム	15:40～15:50	
学 活	15:50～16:00	15:00～15:10

《期末テスト校時表》

	1・2日目
始業時間	8:20
学 活	8:20～8:30
自 習	8:30～9:00
1校時	9:10～10:00
2校時	10:15～11:05
3校時	11:20～12:10
給食	12:10～12:50
学活・清掃	12:50～13:10
完全下校	13:30

3日目は通常校時(1・2校時)で実施

※月曜日は給食後13:10～13:25 昼休み

13:30～14:20 5校時

14:25～14:35 学活 その後下校(部活動なし)

○西中タイム…火～金の帰りの学活前10分間(一日学習の振り返り活動)

⑨ 通学について

・徒歩通学である。しかし、年度当初、自転車通学許可願を申請し、自転車通学の許可とステッカーを得ることで、自転車通学が可能。

※自転車使用時の留意事項

一般通学用自転車。変形ハンドル等改造していないもの。公道を安全に走行するための必要装備が整備されているもの。乗車時はヘルメットを必ず着用すること。並列走行、二人乗り、傘差し運転、夜間や暗い場所での無灯火運転等、道路交通法で禁止されていることはしないこと。

今年度から群馬県交通安全条例が改正され自転車の保険加入が義務化になりました。本校の場合は、PTA賠償責任保険（対人・対物のみ）でまかなわれます。ただし、自分でけがをした場合には適用されません。

3 生徒の諸活動について

- ① 部活動 体育部：野球，バレーボール（女子），ソフトテニス（男子・女子），卓球（女子），陸上（男子・女子），サッカー 文化部：美術（男子・女子）

・完全下校時刻

月	時刻
春分の日～秋分の日	18:00
秋分の日～10月	17:30
11月～1月	17:00
2月～春分の日	17:30
部活動のない日	16:20
会議の日（月曜日）	14:55

② 生徒会活動

専門委員会，小中合同あいさつ運動，三年生を送る会

<専門委員会> 学級委員会，図書委員会，体育・安全委員会，保健委員会，給食委員会，美化委員会

③ 私たちの心得

◎ 服装

<制服について>

- ・標準学生服、及び本校指定のものとする。
- ・ボタンは、本校指定のものとする。
- ・夏季はYシャツ、ブラウス、学校指定ポロシャツのいずれかを着用する。
- ・ズボン、スラックス着用時にベルトをする。  
(ベルトの色は、黒・紺・茶とし、華美な装飾のついたものは禁止とする。)
- ・制服着用時は胸元からインナーが見えないようにする。

<体育着について>

- ・指定の名札をつける。
- ・冬季は、名札の付いたトレーナー（白）を着用してよい。
- ・ウインドブレーカーは、本校指定のものとする。
- ・ウインドブレーカーは、登下校時に着用する。

◎ かばん

- ・両肩に背負えるもので、名前がわかるようにする。

◎ 靴及び靴下

<靴について>

- ・通学と体育の授業に兼用できるランニングシューズとし、必ずかかとに記名をする。
- ・上履き、体育館シューズは、学校指定のものとし、記名をする。  
(上履き：甲とかかと 体育館シューズ：かかと)
- ・かかを踏みつぶさない。

<靴下について>

- ・制服着用時と体育の時に兼用できるスクールソックス着用とする。  
(くるぶしが隠れ、ひざより下の長さ。)
- ・色は、制服(礼服)を着た際に合う色(白、黒、紺、灰色)でワンポイント程度とする。
- ・ストッキング・タイツは肌色または黒とし、靴下も着用する。
- ・儀式的行事は厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるため、全校生徒が統一した服装で行う。そのため、靴下の色は白とし、ストッキングの着用は肌色のみとする。

◎ 身だしなみ

- ・学校は学びの場であり、かつ集団での生活を送る公の場であることから、清潔感があり、学習・運動の妨げにならない身だしなみをする。ここでいう清潔感とは、衛生的でかつ誠実な印象を与える感じのことを指す。
- ・髪が目にかかる長さの場合は、ピンで留める。
- ・肩に掛かったら、ヘルメットが正しく着用できる高さでしぼる。
- ・脱色・染髪・パーマ等の故意な変形は、絶対しない。
- ・髪をしぼるゴムやピン、パッチン留めは、髪になじむ色とする。
- ・眉毛は細くしたり薄くしたりしない。
- ・爪は手のひらから見えない長さとする。
- ・ハンカチかタオルを持参する。

◎ タブレットについて

- ・別途に定めるタブレット活用のルールを守って使用する。

◎ その他

- ・不必要なお金、雑誌類、携帯電話等は持ってこない。
- ・冬季の自転車利用の際は袖で手を覆うことがないように、必要に応じて手袋を着用する。また、ネックウォーマーやマフラーを着用してもよい。インナーも可だが、外から見えないようにする。
- ・自転車を使用する際は、ヘルメットを着用する。
- ・自転車は、変形ハンドル等でないものとする。

※何か個別に相談をしたい場合は担任等に伝えること。

これらの心得は、全校生徒が安心・安全に学校生活を送ることを目的として制定されている。環境、社会情勢等を踏まえ、毎年見直しを行うものとする。また、年度途中であっても校長が必要と判断した場合は、改定を行う。

#### 4 PTA諸活動・集金等について(予定)

- ・PTA会則
- ・体育文化振興会規約
- ・PTA慶弔規定
- ・集金等

PTA会費・体育振興会費 年額8,000円

給食費 月額4,500円(4月から2月) 3,500円(3月)  
年間53,000円(小学校から継続で口座振替)

学年費 月額は学年ごとになります。教材の実費となります。  
修学旅行の積み立てがあります。

令和5年度の例

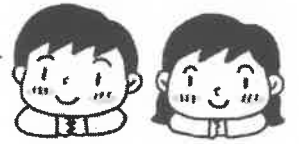
学年集金(教材等) 41,000円(年額)

旅行費積立 41,000円(年額)

82,000円

\*令和6年度～口座振替で集金10,000円×7回 12,000円×1回 計82,000円

## 保健室の利用について



### 1. 急なけがや病気以外は、できるだけ休み時間に利用しましょう。

◇いつから・どこが具合悪いのか・どんなけがをしたのか等、はっきり言えるようにしましょう。

### 2. 保健室に行く前には、担任または教科担当の先生に伝えましょう。

◇どこにいるのかわからないと、心配してしまいます。必ず自分の所在をわかるようにしておきましょう。

◇保健室から教室に戻る場合は、「保健室からの連絡カード」を担任または教科担当の先生に渡しましょう。

### 3. 保健室で休養するのは、原則1時間までです。

◇1時間休養しても良くならない場合は、早退しておうちで体調を整えます。

◇1時間休養後に授業に戻っても、具合が悪く調子が戻らない場合は、早退しておうちで体調を整えます。

### 4. 飲み薬はあげられません。

◇頭痛薬や生理痛の薬等、頓服薬が必要な人は、普段から自分に合った薬をカバンに入れておきましょう。

### 5. 継続的なけがの手当てはできません。

◇昨日のけがの手当ては、おうちでしましょう。傷口は、清潔にすることが第一です!



### 6. 早退する場合は、次の通りです。

◇保護者に連絡をとります。

◇お迎えをお願いするか、自力で帰れるか相談します。

自転車で帰る場合には、家に着いた段階で学校にGoogleFormsで無事着いた報告をします。



## 健康って何だろう

健康って、どういうことでしょうか? 毎日、心も体ものびのびと元気に、楽しく過ごせるといいですね。そのためには、右の表のようなことに気をつけましょう。

あなたの健康を守るのは、あなた自身です。心と体の声に耳を傾けて、元気がないときは、しっか

り休むことも大切です。心と体のパワーを充電して、元気な笑顔の毎日を送ってくださいね。



- ぐっすり眠る
- 朝ごはんを食べる
- 適度に体を動かす
- 食事のバランスに気をつける
- 生活リズムを整える
- 夜更かしをしない
- 寝る前にゲームやパソコンは使わない



# 令和6年度 通知表 の 見 方

境 西 中 学 校

通知表は、生徒の学力等の状況を多方面から正しく評価し、その中から良い面を育てるための努力目標を見付けさせ、生徒一人一人が人として望ましい成長をすることを願い作成しています。

## 1 学習の記録

◎ 教科の評価は、学力を多面的にとらえようという考えから、9教科ごとに設けた3つの観点項目ごとに学習状況を評価した「観点別評価」と、観点別評価を総合して評価した「評定」とがあります。

観点別評価は、各観点についてどのくらい目標に到達したかを以下の3段階で表しています。

A…十分達成しています。

B…おおむね達成しています。

C…もう少し努力しましょう。

観点項目の評価の判断のもとになるものは、以下のような学習の取り組みの様子です。

・定期テスト（中間・期末テスト）

・単元テスト、小テスト、実技テスト、期始めテストなど

・提出物（ワークブック、レポート、ノート、宿題、作品など）の状況

・学習への取組の状況（忘れ物、宿題、見学回数、学習用具の準備、学習意欲・態度など）

・授業観察（授業中の発言 グループでの話し合いなど）

評定は、観点別評価をもとに各教科の特質に応じて総合的に判断し、各教科の全体の評価を以下の5段階で表しています。

5…十分達成していて、特に程度の高いものです。

4…十分達成しています。

3…おおむね達成しています。

2…もう少し努力しましょう。

1…いっそう努力をしましょう。

※詳しくは次ページ以降の各教科における評価の基本的な考え方をご参照下さい。ただし、単元、題材の特質の違いにより観点別の評価において項目の変更や、追加、削除をしている場合もあります。

☆各学期ごとの学習のいろいろな場面を振り返り、良いところは伸ばし、不十分なところは補っていけるよう努力しましょう。

※総合的な学習の時間の記録は、総合的な学習の時間の活動内容とその状況をお知らせします。

## 2 特別活動の記録

◎ 授業以外の活動が記録されています。生徒の学校生活のなかで、教科・特別活動・道徳・総合的な学習の時間以外の学習の場として生徒会活動・部活動等があります。ここには所属の部門や、顕著な活躍等の状況が記録してあります。

☆この部分も豊かな、そしてたくましい人間性等を育てるのに大切な役割をはたしています。

## 3 行動の記録

◎ ここでは、生活・行動面での評価として「基本的な生活習慣」「責任感」「自主自立」「思いやり・協力」など、本校教育目標「自ら学ぶ生徒」「思いやりのある生徒」「たくましく生きる生徒」に向かって、それぞれの項目について、他の生徒との比較ではなく、生徒個人の様子をお知らせします。しっかりと取り組んでいるものに○、おおむね取り組んでいるものは空欄、もう少し努力してがんばってほしいものには△で記録されます。

※「基本的な生活習慣」については「言葉遣いが適切で、いつも気持ちのよいあいさつや返事をしていける。」「遅刻がなく、チャイム着席などもしっかりとできている。」「制服や体育着をきちんと着用しているなど、身だしなみを整えている。」「机の中やロッカーなど、身の回りの整理整頓をしている。」「提出物を、期限を守りしっかりと提出している。」の5観点を総合して、しっかりと取り組んでいるものには○、おおむね取り組んでいるものには空欄、もう少し努力して頑張りたいものには△を記録します。

☆学校生活での生徒個人の良さの評価を目的としています。学習面だけでなく、ぜひ見てほしいところですよ。○の付いている項目については褒め、△が付いている項目についてはどう改善したらいいかをご家庭でも話し合ってみてください。

## 4 通信欄

◎ 生徒の学校生活の様子や今後の生活へのアドバイス、保護者の方に伝えておきたいことなどが書いてあります。ここに書かれていることをもとにして、親子で十分に話し合い、良い面を伸ばしたり、弱点を克服したりする目標をつくってください。

## 5 出欠の記録

◎ 月ごとの出席すべき日数や欠席・遅刻等の日数と、主な欠席理由が記入されています。

## 国語科における評価の基本的な考え方

### 評価

#### ○ 知識・技能

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。

#### ○ 思考・判断・表現

論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

#### ○ 主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使うとしている。

### 知識・技能

社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。

#### 評価のポイント

- ア 単元テスト・定期テストの知識・技能に関する記述内容
- イ ノートやワークシートの記述内容
- ウ 生徒同士の対話や教師とのやり取りにおける発言内容

### 思考・判断・表現

論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

#### 評価のポイント

- ア 単元テスト・定期テストの思考力・判断力・表現力に関する記述内容
- イ ペア学習・グループ学習・全体での意見交換の発言内容
- ウ 論述やレポートの作成における記述内容

### 主体的学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使うとしている。

#### 評価のポイント

- ア 粘り強い取り組み
  - ・言語活動を通して、積極的に話し合ったり自らの考えを記述しようとしている。
  - ・学習課題に対し、創意工夫しながら粘り強く取り組もうとしている。
- イ 学習の調整
  - ・教科書やノート、ワークシート等を見直し、今までの学習を生かして新たな学習を進めようとしている。
  - ・他の生徒の意見や考えを受け止めたり、他の生徒と協働したりして、自分の考えを深めようとしている。

# 社会科における評価の基本的な考え方

## 評価

### ○知識・技能

社会的な事象の意義や特色・関連を理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な資料から有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。

### ○思考・判断・表現

知識・技能をもとに社会的な事象の原因や背景を考察し、公正に判断して適切に表現している。

### ○主体的に学習に取り組む態度

社会的な事象について、学習課題に粘り強く取り組むとともに、自ら学習を調整しようとしている。

#### 知識・技能

社会的な事象の意義や特色・関連を理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な資料から有用な情報を適切に選択し、効果的に活用している。

#### 評価のポイント

- ア ミニテストや単元テスト・定期テストの理解力・知識・資料活用能力の記述の見とり。
- イ 教科書・資料集・地図帳を活用した資料の読み取りの見とり。  
(ノート ワークシート)
- ウ 授業の振り返りでの記述の見とり。 (ノート ワークシート)

#### 思考・判断・表現

知識・技能をもとに社会的な事象の原因や背景を考察し、公正に判断して適切に表現している。

#### 評価のポイント

- ア ミニテストや単元テスト・定期テストの思考力・判断力・表現力の記述の見とり。
- イ ペア学習・グループ学習・全体での意見交換の発言内容の見とり  
(発言 ノート ワークシート)
- ウ 調べた社会的な事象をレポートにまとめたり、地図にまとめたりする。

#### 主体的学習に取り組む態度

社会的な事象について、学習課題に粘り強く取り組むとともに、自ら学習を調整しようとしている。

#### 評価のポイント

- ア 粘り強い取り組み
  - ・粘り強く調べ学習や課題に取り組んでいる。
  - ・ミニテストや定期テストに最後まで粘り強く取り組んでいる。
  - ・ワークを最後まであきらめずにやり遂げている。
- イ 学習の調整
  - ・他人の意見や資料を参考に自分の意見を修正し深めている。(授業)
  - ・ミニテストや定期テストで自分の間違ったところを修正・改善している。
  - ・間違ったことを修正・改善し、ワーク問題をやり直す。
  - ・予習した内容を、授業で学んだことを通して、修正・改善して復習している。  
(発言 ノート ワークシート)

## 数学科における評価の基本的な考え方

### 評価

#### ○知識・技能

数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や法則を理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付けている。

#### ○思考・判断・表現

数量や図形などについての性質を見だし、統合的・発展的に考察したり数学的な表現を用いて表現したりする力を身に付けている。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

数学のよさを実感して粘り強く考えるとともに、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

### 知識・技能

数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や法則を理解し、数学的に表現・処理する技能を身に付けている。

#### 評価のポイント

- ア ミニテストや単元テスト・定期テストの知識・技能に関する記述内容
- イ ノートやワークシートの記述内容
- ウ 生徒同士の対話や教師とのやり取りにおける発言内容

### 思考・判断・表現

数量や図形などについての性質を見だし、統合的・発展的に考察したり数学的な表現を用いて表現したりする力を身に付けている。

#### 評価のポイント

- ア ミニテストや単元テスト・定期テストの思考力・判断力・表現力に関する記述内容
- イ ペア学習・グループ学習・全体での意見交換の発言内容
- ウ 論述や問題づくり等の記述内容

### 主体的に学習に取り組む態度

数学のよさを実感して粘り強く考えるとともに、問題解決の過程を振り返って評価改善しようとしている。

#### 評価のポイント

- ア 粘り強い取り組み
  - ・観察や操作、実験などの活動を通して、ものごとの関係やきまりを見出そうとしている。
  - ・問題を把握するために、図や表を用いる等の自ら工夫し、粘り強く課題に取り組んでいる。
- イ 学習の調整
  - ・教科書やノート、ワークシート等を見直し、今までの学習と新たな事柄を結び付けながら、学習を進めている。
  - ・他の生徒の意見や考えを受け止め、自分の考えに生かそうとしている。
  - ・間違えた問題はそのままにせず、解き直しをしている。

## 理科における評価の基本的な考え方

### 評価について

#### ○知識・技能

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な技能を身につけている。

#### ○思考・判断・表現

自然の事物・現象について、観察・実験で得られた結果を分析して、自分の考えをまとめている。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

自然の事物・現象に進んで関わり、学習内容を活用して、科学的に探求しようとしている。

### 評価のポイント

#### 知識・技能

自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な技能を身につけている。

#### ○ 評価の基となりうるデータ

- ア ワークシート（実験プリント）、ノートの内容
- イ 各学期の中間、期末テストでの観点別得点の結果
- ウ 単元プリントの結果
- エ 授業時の発言、観察・実験への取り組み
- オ パフォーマンステスト（実施した場合）

#### 思考・判断・表現

自然の事物・現象について、観察・実験で得られた結果を分析して、自分の考えをまとめている。

#### ○ 評価の基となりうるデータ

- ア ワークシート（実験プリント）、ノート、ワークの内容
- イ 各学期の中間、期末テストでの観点別得点の結果
- ウ 単元プリント、レポートの内容  
（夏休みには自由研究レポートが課されるので2学期の成績に反映）
- エ 授業時の発言

#### 主体的に学習に取り組む態度

自然の事物・現象に進んで関わり、学習内容を活用して、科学的に探求しようとしている。

#### ○ 評価の基となりうるデータ

- ア 各学期の中間、期末テストでの観点別得点の結果
- イ ワークシート（実験プリント）、ノート、ワークの内容
- ウ 観察・実験への取り組みの様子
- エ 提出課題の内容

## 英語科における評価の基本的な考え方

### 評価

#### ○ 知識・技能

英語についての基本的な知識を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。

#### ○ 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切な話題について、英語で簡単な内容を理解したり、活用したりしている。

#### ○ 主体的に学習に取り組む態度

外国の文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮し、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

#### 知識・技能

英語についての基本的な知識を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけている。

#### 評価のポイント

- ア ミニテスト（単語・英文など）や単元テスト・定期テストの・知識・技能に関する記述内容
- イ ペア学習・グループ学習・全体での発言の内容
- ウ 英作文やスピーチ作成における記述内容・インタビューテストでの応答・パフォーマンステストでの見とり

#### 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、適切な話題について、英語で簡単な内容を理解したり、活用したりしている。

#### 評価のポイント

- ア ミニテスト（単語・英文など）や単元テスト・定期テストの思考力・判断力・表現力の記述の見とり。
- イ ペア学習・グループ学習・全体での発言やワークシートの記述内容
- ウ 英作文・ダイアログづくりなどでの発言や記述内容

#### 主体的学習に取り組む態度

外国の文化に対する理解を深め、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮し、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

#### 評価のポイント

##### ア 粘り強い取り組み

- ・言語活動を通して、積極的に会話し合ったり、自らの考えを書いたりしようとしている。
- ・学習課題に対し、創意工夫しながら粘り強く取り組もうとしている。

##### イ 学習の調整

- ・ミニテストや定期テストで自分の間違ったところを修正・改善している。
- ・間違ったことを修正・改善し、ワーク問題をやり直している。
- ・授業で学んだことを通して、自主学習ノートに修正・改善して復習している。

# 音楽科における評価の基本的な考え方

## 評価

### ○知識・技能

曲想や音楽の構造などとの関わりを理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。

### ○思考・判断・表現

音楽を形づくっている要素や特質、雰囲気を感じながら、思いや意図を持って表現を創意工夫したり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。

### ○主体的に学習に取り組む態度

主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に粘り強く、自ら調整しようとしながら取り組もうとしている。

## 知識・技能

曲想や音楽の構造などとの関わりを理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。

### 評価のポイント

- ア 「表現の技能」の定着の様子、実技テストからの見とり。  
定期テストの「知識・技能」に関する部分の記述の見とり。
- イ 教科書等の楽譜からの曲想と音楽の構造などとの関わりの読み取りの見とり。  
(教科書・ワークシート・ワーク)
- ウ 授業の振り返りでの記述の見とり。  
(学習カード・ワークシート)

## 思考・判断・表現

音楽を形づくっている要素や特質、雰囲気を感じながら、思いや意図を持って表現を創意工夫したり、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている。

### 評価のポイント

- ア 定期テストの思考力・判断力・表現力の記述の見とり。
- イ 音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いているかについて、ペア学習・グループ学習・全体での意見交換の発言内容の見とり。  
(発言・教科書・ワークシート)
- ウ 授業の振り返りでの記述の見とり。  
(学習カード・ワークシート)

## 主体的学習に取り組む態度

主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に粘り強く、自ら調整しようとしながら取り組もうとしている。

### 評価のポイント

- ア 粘り強い取り組み
  - ・主体的に、他者ととともに一つの音楽表現をしようとして取り組んでいる。
  - ・実技テストや定期テストなどに最後まで粘り強く取り組んでいる。
  - ・ワークを最後まであきらめずにやり遂げている。
- イ 学習の調整
  - ・他者と関わりながら、音楽表現を創意工夫し、他者の気付きも共有、共感しながら、自分の音楽の捉え方を広げている。
  - ・実技テストでは良くできなかった所などを直し、さらに深めた表現をしようとしている。定期テストなどで間違った所を修正し、改善している。
  - ・間違ったことを修正や改善し、ワーク問題をやり直す。  
(発言・ワークシート・学習カード)
- ウ 授業の振り返りでの記述の見とり。  
(学習カード・ワークシート)

## 美術科における評価の基本的な考え方

### 評価

#### ○知識・技能

対象の良さや美しさを理解し、表現方法を工夫し、創造的に表現している。

#### ○思考・判断・表現

美術の働きを考えるとともに、表現の意図を工夫し、豊かに発想し構想を練り、表現している。

#### ○主体的に学習に取り組む態度

美術の創造活動を楽しみながら、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

### 知識・技能

対象の良さや美しさを理解し、表現方法を工夫し、創造的に表現している。

#### 評価のポイント

- ア 授業の取り組みの様子や発言、発表など。
- イ 習作および作品の様子。
- ウ 学習プリント等の内容。

### 思考・判断・表現

美術の働きを考えるとともに、表現の意図を工夫し、豊かに発想し構想を練り表現している。

#### 評価のポイント

- ア アイディアスケッチの様子。
- イ 習作（下書き）の様子。
- ウ 学習プリント等の内容。

### 主体的学習に取り組む態度

美術の創造活動を楽しみながら、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

#### 評価のポイント

- ア 習作および作品の様子。
- イ 学習プリント等の内容。
- ウ 学習活動の様子。



# 保健体育科における評価の基本的な考え方

## 評価

### ○知識・技能

運動や健康・安全についての基礎的な事項を理解し、それらの特性に応じた基本的な技能を身に付けている。

### ○思考・判断・表現

運動や健康・安全についての自己や仲間の課題発見し、知識・技能をもとに、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。

### ○主体的に学習に取り組む態度

運動や健康・安全に関心をもち、自主的に粘り強く学習に取り組むとともに、自らの学習を調整しようとしている。

## 知識・技能

運動や健康・安全についての合理的な実践について理解し、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。

## 評価のポイント

- ① 実技テストや定期テストでの見とり。
- ② ゲームや記録会でのルール等の理解度。
- ③ 授業の振り返りでの記述。(ワークシート)

## 思考・判断・表現

運動や健康・安全についての自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて考えた取り組み方の工夫などを他者に伝えている。

## 評価のポイント

- ① 授業での、練習やゲームなどでの様子。
- ② 学習カードやワークシートの記述。

## 主体的学習に取り組む態度

運動や健康・安全に関心をもち、自主的に粘り強く学習に取り組むとともに、課題解決に向けて調整しながら学習しようとしている。

## 評価のポイント

- ア 粘り強い取り組み
- ・自己の課題をみつけ、意欲的に学習に取り組んでいる。
  - ・技能習得のため、粘り強く練習に取り組んでいる。
  - ・ゲームや記録会で、最後まで一生懸命やり遂げている。
  - ・技能テストや定期テストに向け、最後まであきらめずにやり遂げている。
- イ 学習の調整
- ・自己の課題解決に向け、調べたり他者とアドバイスをしあったりして修正・改善をしている。
  - ・練習やワークなどでできなかったところが、技能テストや定期テストで身に付いている。

# 技術・家庭科における評価の基本的な考え方

## 評価

### ○知識・技能

生活と技術についての基本的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。

(評価のポイント)

- ア 実習中の作業状況
- イ 完成した作品
- ウ 実技テスト
- エ 定期テスト
- オ 提出プリントの内容

### ○思考・判断・表現

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとしている。

(評価のポイント)

- ア 学習プリントでの学んだ技術を生活に活かす工夫の記述
- イ 作品のアイデアと、実習の計画的な実践
- ウ 作品の状況

### ○主体的に学習に取り組む態度

生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を身に付けている。

(評価のポイント)

- ア 粘り強い取り組み
  - ・毎時間のプリントに必要事項を書き込み、きちんと提出している。
  - ・授業中に積極的に意見を発表したり、実習に取り組んでいる。
- イ 学習の調整
  - ・授業で学んだことを通して、自主学习ノートに修正・改善して復習している。
  - ・定期テストで自分の間違ったところを修正・改善している。
  - ・作品の失敗やもらったアドバイスを製作に生かしている。



年 組 番 氏名

---

(伊勢崎市立境西中学校 令和6年度)